

(様式第1)

※岡山県産業振興財団を經由して提出

申請日は他の添付書類の日付以降

令和 2年 m月 d d日

岡山県知事 伊原木 隆太 殿

法人の場合、履歴事項全部証明書又は定款と同じ内容

個人事業主の場合、開業届又は青色申告決算書と同じ内容を記入
※開業届出後に変更がある場合は、変更後の内容を記入

(申請者)

所在地(住所) 岡山県●●市●●●●●●●●

名称(屋号) 株式会社●●●●

代表者職氏名 代表取締役 岡山 太郎

印

法人の場合
印鑑登録された代表者印
(会社の実印)

個人事業主の場合
個人の実印

小規模設備生産性向上支援事業補助金交付申請書

上記補助金の交付について、岡山県補助金等交付規則（昭和41年岡山県規則第56号）第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 補助事業の内容
別紙1「補助事業計画書」のとおり
- 2 補助事業に要する経費及び補助金交付申請額
別紙2「補助対象経費積算明細書及び資金調達計画」のとおり
- 3 補助事業完了（予定）日
別紙1「補助事業計画書」のとおり
- 4 その他必要な書類
チェックリストのとおり

補助事業計画書

1 申請者の概要

所在地(住所)	〒●●●● - ●●●● 岡山県●●市●●●●●●●●		
名称(屋号)	株式会社●●●●		
代表者職氏名	ふりがな おかやま たろう (役職) 代表取締役 (氏名) 岡山 太郎		
補助事業の実施場所	(事業所名等) 〒△△△ - △△△△ 岡山県△△市△△△△△△		
補助事業推進責任者連絡先	(役職) 経理部長 (氏名) 岡山 桃子 (E-mail) xxxx@xxx.xx.xx (TEL) 086-xxx-xxxx (FAX) 086-yyy-yyyy		
資本金・出資金	1,000 万円		
従業員数	20 人		
主たる業種 (いずれかに チェック)	<input type="checkbox"/> ①製造業 <input type="checkbox"/> ②卸売業 <input type="checkbox"/> ③小売業 <input type="checkbox"/> ④建設業 <input type="checkbox"/> ⑤宿泊業 <input type="checkbox"/> ⑥飲食業 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦情報通信業 <input type="checkbox"/> ⑧運輸業 <input type="checkbox"/> ⑨その他		
業務内容	情報通信業。主には飲食業界や住宅業界からの依頼により出版物、広告物の制作等を行っている。		
新型コロナウイルス感染症の影響について	【記入例】 新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めた4月以降、仕事量が激減（前年同月比〇%減少）。秋以降も受注回復の見込みは立っておらず、大きな打撃を受けている。		
売上の減少について	<input type="checkbox"/> 「危機関連保証」又は「セーフティネット保証4号」の認定書の写しを添付している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記認定書写しを添付していない ↓売上減少率を記入してください		
	売上減少率	令和2年__4月の1か月の売上高	_____ 15,000,000円…(a)
		前年同月の1か月の売上高	_____ 25,000,000円…(b)
売上高の減少(a) - (b)		_____ ▲10,000,000円…(c)	
減少率(c) / (b) × 100 ※▲15%以上であることを		_____ ▲40.0%	

所在地(住所)・名称(屋号)・代表者職氏名は申請書(様式第1)同じ内容を記入

補助事業の実施場所は実際に設備等が使用・設置される場所を記入 ※必ず岡山県内の事業所

補助事業推進責任者連絡先は“申請内容を説明できる企業の方”を記入

法人の場合、資本金・出資金は履歴事項全部証明書又は定款と同じ金額

個人事業主の場合、資本金・出資金は記入不要

従業員数は申請日における従業員数を記入

主たる業種は、最も近い業種一つにチェック
参考: 「ちえつく」で変換→「」
「しかく」で変換→「」

いずれかにチェック

「危機関連保証」「セーフティネット4号」認定書の写しがある場合、売上減少率は記入不要

比較した月の売上高がわかる書類と同額を記入
減少率の数値は小数点第2位を四捨五入
例) 23.45%→23.5%

名称(屋号)	株式会社●●●●
代表者職氏名	代表取締役 岡山 太郎

2 補助事業の内容 ※欄が不足する場合は、適宜枠を縦に広げること

自社の現状 (業況・現況)	<p>【記入例】</p> <p>当社の売上のうち、約5割が住宅業界、約4割が飲食業界からの発注案件である。この2つの業界は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けており、その影響が当社にも及んでいる。主となっているこの2つの業界以外からの案件獲得を行っていく必要性を強く感じている。</p>
生産性向上に関する 自社の課題	<p>【記入例】</p> <p>新たな販路開拓の必要性が高いものの、当社の組織体制を鑑みると、これ以上の案件を受けることによる就業時間の長期化は避けられない。 受発注システムの導入により、業務の効率化が必須である。</p>
補助種別 (該当するものにチェック)	<p><input type="checkbox"/> 設備等購入 <input checked="" type="checkbox"/> システム等構築 <input type="checkbox"/> 運搬具購入</p>
課題を解決するための 設備等の概要	<p>【記入例】</p> <p>受発注システム「○○○○」 メーカー名：●●●● 型式：x x x x x x x</p>
設備購入等による 課題解決の 具体的な内容	<p>【記入例】</p> <p>受発注システムを導入することで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定型業務の自動化 ・誰でも作業に携わることが可能となる汎用化 ・入力業務等に必要な時間や作業の短縮化が見込まれる。
設備購入等による 生産性向上が 及ぼす効果	<p>【記入例】</p> <p>当社の売上の主となっているのは住宅、食品業界であるが、売上の低迷が顕著となっている現在、別の業界へも新たに案件獲得を行っていく必要がある。そのため、受発注システムを導入し業務の効率化を図り、従業員の就業時間を短縮することで、新たな案件を受注したときにも、現在と同等の作業時間で、これまで以上の案件に対応することが可能となる。</p> <p>また、本システムを導入することにより業務の属人化防止にも繋がり、特定の社員の負荷低減にも寄与することとなる。</p>
スケジュール	<p>開始(予定)日 (令和 2年 11月 1日)</p> <p>完了(予定)日 (令和 2年 12月 31日)</p>

※補助対象経費積算明細書(別紙2)に対応するように補助種別にチェック
※設備等の概要を合わせて記入

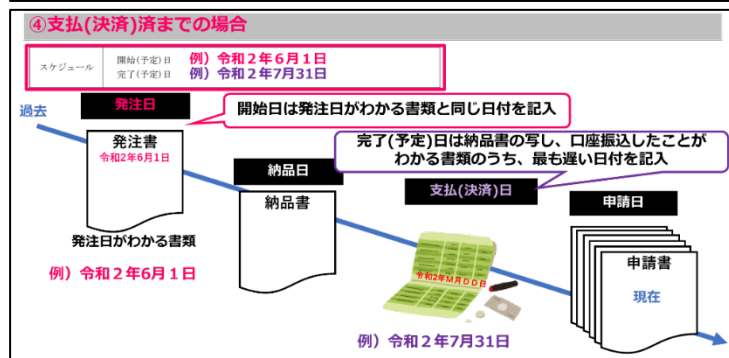
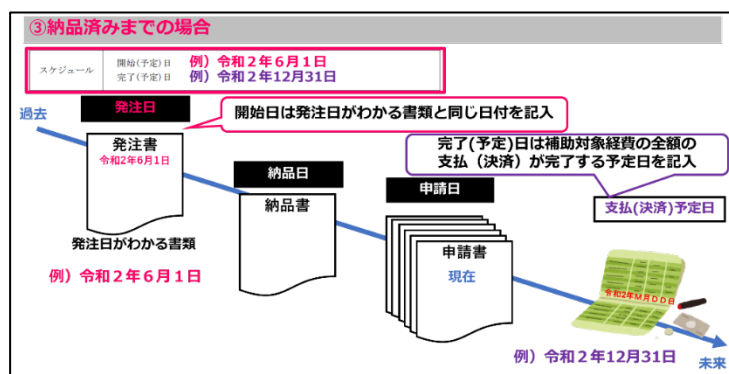
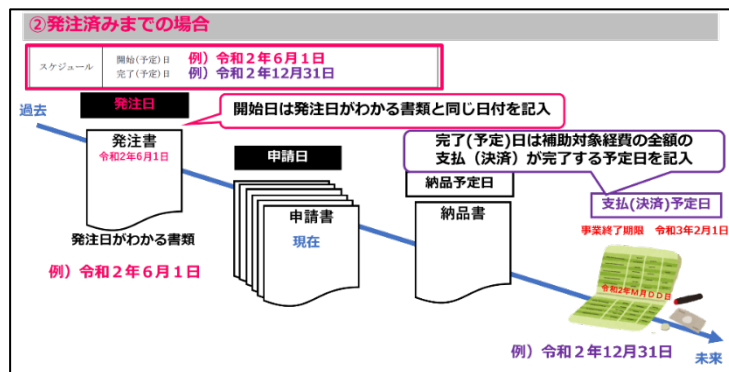
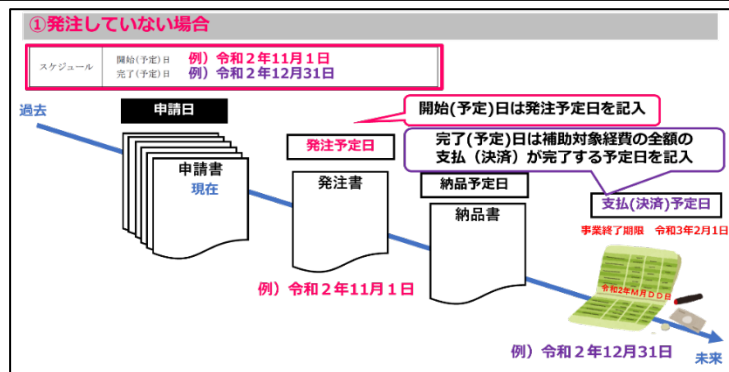
以下のスケジュール参考の場合に分けて記入

この事例は、内容をイメージするために作成しております。記載内容につきましての根拠はございません。事業者様の状況に即してご記載いただきますようお願いいたします。

なお、文章等で表現しにくいところは、写真や表、グラフ等を貼付していただければ、より具体的な説明になると思われます。

また、記載にあたりまして、「新型コロナウイルス感染症の影響」「自社の現状（業況・現況）」「生産性向上に関する自社の課題」「設備購入等による課題解決の具体的な内容」「設備購入等による生産性向上が及ぼす効果」等につきまして、具体的な数値等を記入していただくと、内容がより充実すると思われます。あわせ記載していただくことを強くおすすめします。

スケジュール参考



補助対象経費積算明細書及び資金調達計画

忘れずに記入

会社名(屋号)	株式会社●●●●
代表者職氏名	代表取締役 岡山 太郎

※ 色のついたセルのみ入力してください (行は適時挿入してご記入ください)

(単位:円)

補助対象経費	内 容	数量(a)		単 価 (消費税込み) (b)	補助事業に 要する経費 (c)=(a)×(b)	補助対象経費 (消費税抜き) (d)=(c)÷1.1	補助金交付 申請額 ((d)×2/3以内) (e)
		数	単 位				
設備購入費							
システム構築費	受発注システム	1	式	6,600,000	6,600,000	6,000,000	
運搬具購入費							
合 計					6,600,000	6,000,000	3,000,000

数・単位を(a)に、単価を(b)に消費税込でご記入ください。
※他の数字は自動で計算されます。

該当する対象経費区分の欄に購入する設備の名称等を記入
※見積書等と照合できるように記入してください。

(注)

- 1 補助対象経費は、消費税および地方消費税を除いた額を記載すること
- 2 補助金下限額は50万円と

補助金交付申請額 (e) + 自己資金額 (f) + その他(借入等) (g) = 補助事業に要する経費(c) となるように記入

【収入の部】

(単位:円)

区 分	事業に要する経費	資金調達先
補助金交付申請額(e)	3,000,000	岡山県
自己資金(f)	600,000	
その他(借入等)(g)	3,000,000	●●信用金庫 ■■支店
合計額(e+f+g=c)	6,600,000	